



# 定例記者会見 お知らせ事項 1

平成23年7月22日

## 公開イベントのご案内

### ビジネススクールで映画と地域を語る！第3弾！ 『奥さまは3億5千万円集めた映画プロデューサー ～グラスルーツ的地域映画づくりの挑戦～』

香川大学大学院地域マネジメント研究科は、「瀬戸内国際こども映画祭 2011」総合プロデューサーの益田裕美子氏を招き、「ビジネススクールで映画と地域を語る！第3弾！『奥さまは3億5千万円集めた映画プロデューサー～グラスルーツ的地域映画づくりの挑戦～』」と題して、公開イベントを開催いたします。

当研究科では、これまで米国ハリウッド映画のコンテンツ制作のプロセスに関する調査・研究を進めるとともに、香川県や国内外の映画監督や映画関係者を招き、一般公開型のシンポジウムを開催してきました。例えば、昨年9月には本研究科生とともに、「香川ハリウッド化計画!?『ロケ地から聖地へ！』- 映画で地域活性化大作戦!! -」と題して、香川出身でドラマ「踊る大捜査線」シリーズや映画「UDON」で有名な本広克行監督を招いて、映画と地域活性化をテーマにシンポジウムを実施し、300名を超える人々にお集まりいただきました。

香川県では最近でも「めおん」「きな子」「花子の日記」「八日目の蝉」など注目すべき映画が次々につくられており、当研究科は、クリエイティビティベースの地域活性化をさらに進めるべく、地域の様々なプレーヤーのコラボレーションを促進し、人材育成と研究、地域貢献が一体となった取り組みを進めていく必要があると考え、取り組んでいるところです。

また、当研究科の原教授は、今年8月に香川県で初めて開催される「瀬戸内国際こども映画祭 2011」において瀬戸内を舞台としてこどもが活躍する映画の脚本コンテストである「エンジェルロード脚本賞 2011」の審査員を務めており、139本の応募から第一次審査で選ばれた10本の脚本について現在選考を進めています。

この度、当研究科では同映画祭の総合プロデューサーである益田裕美子氏をお招きして、「ビジネススクールで映画と地域を語る！第3弾!!『奥さまは3億5千万円集めた映画プロデューサー～グラスルーツ的地域映画づくりの挑戦～』」と題した公開イベントを下記の通り開催いたします(参加費無料)。

益田裕美子さんは、家庭の主婦でありながら映画づくりのために3億5千万円を集め、プロデューサーもつとめてしまったスーパー奥さまです。いろんな産業や大学と連携するという様々な形で「風の絨毯」、「築城せよ！」など、すでに5本の映画をつくり、すべて費用は回収できているということで、その業界人顔負けかつ素人ならではの常識やぶりの経験と実績から、地域で映画をつくり発信していくには何が大切なのかを、瀬戸内国際こども映画祭にかけける情熱とともに語っていただきます。参加希望者は、7月28日までに氏名・所属・連絡先(電話)を記入の上<gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp>まで、メールでお申込み下さい(お問い合わせ 087-832-1955:研究科長室、9-21時、日曜日以外)。

記

開催日時 2011年7月30日(土) 18:30～(開場 18:15)  
開催場所 香川大学 大学院地域マネジメント研究科 特別講義室  
(高松市幸町2-1 幸町南キャンパス)



イベント内容についてのお問い合わせ先  
香川大学 大学院地域マネジメント研究科  
教授 原真志  
TEL: 087-832-1904  
E-mail: [hara@gsm.kagawa-u.ac.jp](mailto:hara@gsm.kagawa-u.ac.jp)

以上

## 【講師紹介】

益田 祐美子

映画 & コンテンツプロデューサー

岐阜県高山市生まれ。金城学院大学卒業、同大学での研究「高齢者用商品開発への提言と実際」が、商品研究大賞受賞。NHK岐阜・名古屋でニュース、子ども向け番組に出演。1987年月刊「Home Economist Wise」誌記者を経て、現在(株)平成プロジェクト代表取締役。第2・3・4回経済産業省ものづくり大賞審査員、本年8月に開催される瀬戸内国際子ども映画祭では、総合プロデューサーを務める。

2003年日本イラン合作映画「風の絨毯」製作総指揮。2005年「平成職人の挑戦」製作総指揮。2007年「蘇る玉虫厨子」製作、2009年劇映画「築城せよ！」製作。2011年日韓合作「海峡をつなぐ光」製作。

